

平成30年度
第3回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会
会議録

平成31年1月
紀の川市企画部地域創生課



会 議 録

- 会議の名称 平成30年度第3回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会
- 開催日時 平成31年1月17日(木) 13時40分開会～14時58分閉会
- 開催場所 紀の川市役所 本庁4階 401会議室
- 会議次第
1. 開 会
 2. あいさつ
 3. 出席者紹介
 4. 議 事
 5. そ の 他
 6. 閉 会
- 会議資料
- 配席図
 - 議案書
 - 別冊資料
 - ・計画素案に寄せられたご意見について
 - ・紀の川市地域公共交通網形成計画【概要版】(素案)
 - ・紀の川市地域公共交通網形成計画【本編】(素案)
 - ・紀の川市地域公共交通網形成計画【資料編】(素案)
 - 紀の川コミュニティバスについての「広報紀の川(1月号)」記事
 - 紀の川コミュニティバスについての新聞記事
- 会議の公開・非公開の別(非公開の場合はその理由): 公 開
- 傍聴人の数(公開した場合): 0 人
- 出席(欠席)委員: 別紙「出席者名簿」のとおり
- 事務局: 事務局長(地域創生課 課長) 直田 武真
事務局員(地域創生課 班長) 高月 良和
事務局員(地域創生課 主任) 小河 慶高
事務局員(地域創生課 副主査) 西川 昌克
- 会議録署名委員: (粉河地区区長会 会長) 恩賀 義之 委員
(貴志川地区区長会 会長) 南 勝 委員

□議事進行

1. 開 会

○直田事務局長より会議の開会を宣言。

2. あいさつ

○林会長より挨拶。

3. 出席者紹介

○直田事務局長より出席委員および事務局員の紹介。

○当会規約第9条に基づき、高橋副会長が議長に就任する。

○高橋副会長が、会議録署名委員（2名）を指名し、了承を得る。

4. 議 事

【議案第1号】地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について

○高橋副会長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「資料1」により説明。

○高橋副会長

意見・質疑を委員に求める。

○恩賀委員

「紀の川市が所有し、巡回バス運行に用いたハイエースを、官公庁オークションで売却し、市歳入の増加に努めました。(1,099,900円/車両概要：約10年・約70万km)」とあるが、「官公庁オークション」とは何か。

○事務局

市が所有する公有財産を処分する際には、単純に廃棄する場合もあれば、広く買い手を募って売却する場合があります。売却にあたっては、買い手を広く募ることで、市にとって不要となってしまったものであっても値段付き、市の歳入増加につながる可能性があります。「官公庁オークション」とは、処分する公有財産

をインターネット上で公開・発信することで広く買い手を募る仕組みのことです。

○高橋副会長

その他の意見・質疑を委員に求める。

(拍手多数)

○高橋副会長

拍手多数と認め、第1号議案を承認する。

【議案第2号】 紀の川市地域公共交通網形成計画（素案）の確定とパブリックコメントの実施について

○高橋副会長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「別冊資料」の中から、「計画素案に寄せられたご意見について¹」説明。

議案第2号は、内容が多岐に渡るため事務局からの説明を一旦中断し、委員に意見を求めたい旨、説明。

○高橋副会長

ここまでのところで、意見・質疑を委員に求める。

○麻生委員

市が定める計画であるから、「クロスセクター効果」についての観点をもう少し盛り込んでみてはどうか。

○事務局

計画の実施については、他部門との連携も視野に入れながら取り組んで参りたいと考えています。計画への盛り込みについては、パブリックコメント期間を経て検討したいと考えます。

○高橋副会長

¹ 「紀の川市地域公共交通網形成計画（素案）」については内容が多岐に渡るため、協議会開催のご案内に同封のうえ事前送付し、委員各位からのご意見を事前に募っていました。

その他の意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

○高橋副会長

事務局へ続きの説明を求める。

○事務局

「別冊資料」の中から、「紀の川市地域公共交通網形成計画について（概要版）」を説明。

事務局からの説明を一旦中断し、改めて委員に意見を求めたい旨、説明。

○高橋副会長

ここまでのところで、意見・質疑を委員に求める。

○高橋副会長

「目指す地域公共交通の姿（将来像）」にある、「人に会いに行きたい」という表現は具体的過ぎて逆に「なぜ会いに行きたくなるのか」、「そのような場所はどこなのか」と考えてしまう。パブリックコメントでの意見等を活かし、もう少し補強する必要があるかもしれない。

○事務局

検討します。

○衣川委員

「将来ネットワークのすがた」で、生活支援軸（補助）が市内全域に張り巡らされているように見えるが、補助のあり方をどのように考えているか。

○事務局

ネットワーク図の色味が曖昧で分かりにくいのですが、補助としてネットワーク図に記載した箇所は、「細野」、「鞆渕」、「貴志川」、「赤沼田」のエリアです。こうしたエリアを新しい乗合交通など地域に応じたサービスに置き換えることで、地域公共交通の利便性向上を目指しています。

○高橋副会長

衣川委員から指摘のあった箇所について、ネットワーク図がオレンジ色の実線か破線かという視認性の悪い区分なので、修正をお願いします。

○事務局

修正を検討します。

○麻生委員

鉄道とバスとの接続性向上について、検討いただけないか。

○事務局

素案本編 p.29 に関連する内容かと思われるので、鉄道とバスの接続性向上についても触れられないか検討し、パブリックコメント終了後に改めてご報告させていただきます。

○麻生委員

紀の川市地域公共交通網形成計画で目指そうと考えている、将来の大きなイメージについて教えていただきたい。

○事務局

地域公共交通維持のため、市民の生活交通を維持するための取組を計画したいと考えています。そのなかでも重要な点の一つとして考えていることは、長大化したバス路線の短縮化と、地域に適した地域公共交通の運行です。

○木村委員

ネットワーク図に、紀の川コミュニティバスについても記載があるが、どのように考えているか。

○事務局

紀の川コミュニティバスは、岩出市・和歌山バス那賀株式会社と連携しながら利用促進等に取り組んでいきたいと考えています。バス路線として実際に存在するためネットワーク図に記載していますが、具体的な取組については紀の川市単独で決められることでは無いため、計画とは切り離して3者で検討を進めたいと考えています。

○高橋副会長

その他の意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

○高橋副会長

事務局へ続きの説明を求める。

○事務局

「資料2」により説明。

○高橋副会長

意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

○高橋副会長

拍手をもって承認の可否を確認。

(拍手多数)

○高橋副会長

拍手多数と認め、第2号議案を承認する。

5. その他

○事務局

①地域公共交通の利用促進に向けた情報発信の状況について、説明

- ・ 広報紀の川（1月号）に紀の川コミュニティバスの無料乗車券を掲載
- ・ 地元新聞から取材を受けた記事を報告
- ・ 貨客混載の取組など、地域公共交通の持続に向けた検討を実施する旨、報告

②効率的なバス運行を目指し、運転士からの意見等も取り入れながら計画の実施に当たる旨、説明

- ・ 地域巡回バス（貴志川路線）の運転士から、乗客がほとんど乗車しない便についての指摘をいただいたため、こうした意見も取り入れながら計画の実施に当たる旨、説明

③和歌山線（JR西日本）で新型車両が導入される旨、説明

藤原委員からも補足説明

④議事録の署名について

○泉中委員

JR新型車両について、身体障害者に配慮された構造となっているか。

○藤原委員

現在の車両に比べ、性能や設備は大きく向上する。身体障害者の方々にとっても、現行車両より利用いただきやすくなるかと思う。

6. 閉 会

以上、平成30年度第3回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

平成31年2月4日

会 長 林 信 良 

署名委員 恩 賀 義 之 

署名委員 南 勝 

(参考) 出席者名簿

規約第4条に基づく 位置付け	所属	職名	氏名	備考
(1) 紀の川市の指名する者	紀の川市	副市長	林 信良	会長
	紀の川市	福祉部長	橋本 好秀	
	紀の川市	農林商工部	神徳 政幸	
	紀の川市	建設部長	前田 泰宏	
(2) 法第2条第2号に掲げる 公共交通事業者等及びその 組織する団体が推薦する者	和歌山バス那賀株式会 社	取締役社長	久保 洋介	
	有田交通株式会社	代表取締役	岩橋 正典	
	株式会社有交紀北	代表取締役	西脇 正宜	
	西日本旅客鉄道株式会 社	総務企画課長	藤原 鋭	代理出席
	和歌山電鐵株式会社	総務企画部長	麻生 剛史	代理出席
	公益社団法人和歌山県 バス協会	専務理事	森下 清司	
	一般社団法人和歌山県タ クシー協会	専務理事	安東 完爾	
和歌山県交通運輸産業 労働組合協議会	幹事	坂前 吉信		
(3) 住民又は利用者の代表	粉河地区区長会	会長	恩賀 義之	
	那賀地区区長会	会長	平井 貴	
	桃山地区区長会	会長	植田 紳一	
	貴志川地区区長会	会長	南 勝	
	紀の川市身体障害者連 盟	会長	泉中 條子	
(4) 近畿運輸局和歌山運輸 支局長又はその指名する者	和歌山運輸支局	首席運輸企画専門官	衣川 勝己	
	和歌山運輸支局	運輸企画専門官	小林 純平	代理出席
(5) 岩出警察署長又はその 指名する者	岩出警察署	交通課長	廣海 泰宏	代理出席
(6) 道路管理者、学識経験 者その他の協議会が必要と 認める者	近畿大学経営学部	教授	高橋 愛典	副会長
	和歌山河川国道事務所 和歌山国道維持出張所	所長	原 利恵子	
	和歌山県企画部地域振 興局総合交通政策課	課長	長尾 尚佳	監査委員
	那賀振興局建設部	副部長	松本 功	
	岩出市総務部総務課	総務部次長兼総務課長	木村 清隆	監査委員

欠席	打田地区区長会	会長	坂上 明
----	---------	----	------